

初めての岩屋

永田小学校

五年

牧内

一統

朝、ぼくは、白谷雲水峡にいた。ぼくもみんながまだあくびをしていた。だけど、大人たちは、ぼくたちのことなんか気にしないで、どんどん進んで行った。

最近はずんぜん運動をしていなかった。で、少し登った。ただ、足がいたくなってきた。ぼくは、がんばって先頭に着いて行った。

一回目の休けい。気づいたら先頭はぼくと

永田小学校

お母さんだけになっていた。ぼくは、川を見たら、魚はいなかった。たけれど、とてもきれいな水が流れていた。川を見ているうちに、弟とぼくの友達か追いついてきた。そして、お父さんたちもすぐ追いついてきた。お父さんたちがちょっと休けいしたら、また、登り始めた。ずと登っている。だんだん足がなれてきて、たんたん登れた。登ることに集中しすぎた。つまずいてしまったこともあった。だけど

お母さんが、

「だいじょうぶ」。

と言っ、てくれて立ち直った。そこからどんどん登っていった。

やっとここけむす森に着いた。着いたらまず写真をとった。そのあと水分をとった。そして、

また歩き初めようとした。だけど、友達が転んでしまった。友達の足を休めた。友達

が、  
「もうだいじょうぶ」。

永田小学校

と言った。そしてやっとまた登り始めることができた。ぼくはどんどん登っていった。

そして、ラストの階段が見えた。ぼくはもう足がくたくただった。

「もう帰ろう」。  
と言う人もいた。だけどぼくは登り始めた。

ぜんぜん進んでいる感じがしなかった。だけど一歩が重し、かり近づいていた。階段

を登りきった。けれどそこは太鼓岩ではなく休けい所だった。お昼ご飯を食べている人

が多かった。ぼくたちは、休けいせず、太鼓  
岩へ向かった。

太鼓岩に着いた。これまでは岩をたたたくの  
が下手だったけど、となりになっていたが、イドさん  
が岩のたたたく所を教えしてくれた。たたいてみ  
るととてもいい音がでた。

太鼓岩からおりて、岩屋へ向かった。ぼく  
は、岩屋に行つたことがなか、たのでドキド  
キした。石の止を歩いて行つた。

永田小学校

岩屋が見えた。そして岩屋の中に入つてみ  
て思つた。たより暗くてせまかった。

ぼくは、岩屋を見て、屋久島の自然で、また  
物をもつと見たくなつた。